

# 本当の『女性活躍』とは？

## G7の主要課題となったジェンダー平等

**日時** 2018年5月22日（火） 14:00～17:00（13:30開場）

**場所** 文京区民センター（2階2-A会議室） 文京区本郷4-15-14

都営三田線・大江戸線「春日駅A2出口」徒歩2分 JR総武線水道橋駅東口徒歩15分  
東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅4b出口」徒歩5分 南北線「後楽園駅6番出口」徒歩5分

### スピーカー・報告者

**林 陽子** 「G7から見た日本のジェンダー課題」

国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）前委員長  
2018 G7カナダ ジェンダー平等諮問委員会メンバー

**三輪 敦子** ヒューライツ大阪所長・国連ウィメン日本協会副理事長

**浅井 春夫** “人間と性”教育研究協議会代表幹事・立教大学名誉教授

**角田 由紀子** 弁護士

**北郷 美由紀** 朝日新聞記者

《後半では、テーマに分かれグループディスカッションを実施》



日本のジェンダーギャップ指数は144か国中**114位**。一方で、政府は「女性が輝く社会」というキャッチフレーズを掲げ、女性活躍推進を標榜している。この不可解な隔たりは何に起因するだろうか。華々しさとは裏腹に、**経済的にも、法的にも、文化的にも、意図的しようとしなくとも、不可視化された人権課題があるのでは**ないか。

6月にカナダで開催されるG7は「**フェミニストG7**」とも呼ばれるほど、ジェンダー平等を中心課題とし、主流化を図ろうとしている。呼びかけ人の**林陽子氏**は、カナダ政府が主宰するジェンダー平等諮問委員会に日本人で唯一メンバーに選出された。また、フェミニストのリーダーによる会議、「**W7**」の参加者から、NGO等からなる市民社会のアドボカシー（政策提言）討議について報告する。後半は、G7の機会に、参加者同士でのグループディスカッションを通じて、提言を**発信**しましょう！

### 呼びかけ人

**林陽子**

SDGs市民社会ネットワーク ジェンダー・ユニット共同幹事

(JAWW（日本女性監視機構）副代表 織田由紀子・公益財団法人ジョイセフ 理事長 石井澄江)

### 参加方法

参加無料（先着100人）

以下のリンクまたは右のQRコードからお申し込みください

<http://j.mp/2JumDI>



### お問合せ

ジョイセフ アドボカシーグループ

☎ 03 (3268) 3172 ✉ [advocacy@joicfp.or.jp](mailto:advocacy@joicfp.or.jp)

